

2024年11月14日
株式会社 電通グループ
代表執行役 社長 グローバル CEO 五十嵐 博
(東証プライム市場 証券コード：4324)

2024年度通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

株式会社電通グループ（本社：東京都港区、代表執行役 社長 グローバル CEO：五十嵐 博、資本金：746億981万円）は、本日開催の取締役会において、2024年8月14日に公表した2024年度通期（2024年1月1日～12月31日）の連結業績予想の修正を決定いたしましたので、下記のとおりお知らせします。

(1) 2024年度通期連結業績予想の修正（IFRS基準、2024年1月1日～12月31日）

(△は減少)

	今回修正 予想(A)	前回(8月)発表 予想(B)	増減額 (A-B)	増減率 (%)	(ご参考)前期実績 (2023年1-12月)
収益(百万円)	1,400,100	1,356,700	+43,400	+3.2	1,289,302
売上総利益(百万円)	1,195,700	1,189,300	+6,400	+0.5	1,129,569
調整後営業利益 ^{※1} (百万円)	167,700	180,000	△12,300	△6.8	163,515
オペレーティング・ マージン	14.0%	15.1%	111bps		14.5%
親会社の所有者に帰属する 調整後当期利益 ^{※2} (百万円)	91,600	101,000	△9,400	△9.3	89,839
基本的1株当たり 調整後当期利益(円)	350.13	381.96			339.79
営業利益(百万円)	92,000	107,100	△15,100	△14.1	45,312
親会社の所有者に帰属する 当期利益(百万円)	23,500	36,700	△13,200	△36.0	△10,714
基本的1株当たり 当期利益(円)	89.83	140.20			△40.52

為替換算レート

	今回修正 予想(A)	前回(8月)発表 予想(B)	増減額 (A-B)	増減率 (%)	(ご参考)前期実績 (2023年1-12月)
1USD	151.0円	153.0円	△2.0円	△1.3	140.6円
1GBP	193.2円	194.0円	△0.8円	△0.4	174.9円

注：※1～※2は、次頁を参照。

為替換算レートに関して、2024年度業績予想の今回修正予想は2024年1-10月平均を採用。

前回8月発表予想は、2024年1-7月平均を採用。なお、前回発表予想にて修正を行った営業利益と親会社の所有者に帰属する当期利益以外の項目は、2月発表時に使用した2024年1月平均を採用。(2024年1月平均：円/USD146.1円、円/GBP185.5円)

2023年度実績は2023年1-12月平均を採用。

(2) 2024 年度通期連結業績予想の修正背景

当四半期において、主に、米州、EMEA、APAC における CXM（顧客体験マネジメント）領域の事業が 8 月時点の想定を下回ったこと、また、第 4 四半期においても全体的に見通しを慎重に見直したことにより、通期の目標として、オーガニック成長率「約 1%」（期初発表）から「約 0%」へ、オペレーティング・マージン「約 15%」（期初発表）から「約 14%」へ、基本的 1 株当たり調整後当期利益を「381 円」（期初発表）から「350 円」へ修正します。また、売上総利益は、使用する為替レートの影響により僅かに上方修正するものの、事業上の利益指標である調整後営業利益の予想修正に伴い、営業利益及び親会社の所有者に帰属する当期利益の業績予想についても修正をします。なお、一株当たり年間配当予想については、変更ありません。

- ※1. 「調整後営業利益」は、営業利益から、『買収行為に関連する損益』および『一時的要因』を排除した、恒常的な事業の業績を測る利益指標。『買収行為に関連する損益』：買収に伴う無形資産の償却費、M&A に伴う費用、完全子会社化に伴い発行した株式報酬費用。『一時的要因』：構造改革費用、減損、固定資産の売却損益など。
- ※2. 「親会社の所有者に帰属する調整後当期利益」は、当期利益（親会社所有者帰属分）から、営業利益に係る調整項目、条件付対価に係る公正価値変動額（アーンアウト債務再評価損益）・株式買取債務に係る再測定額（買収関連プットオプション再評価損益）、これらに係る税金相当・非支配持分損益相当などを排除した、親会社所有者に帰属する恒常的な損益を測る指標。

【リリースに関する問い合わせ先】

株式会社電通グループ グループコーポレートコミュニケーションオフィス 小嶋、沢田、杉浦

Email : group-cc@dentsu-group.com